



# くれ

936号  
2022年7月19日  
郵政産業労働者ユニオン  
呉支部発行



←中国地本HPへ  
PC・スマホ等から  
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

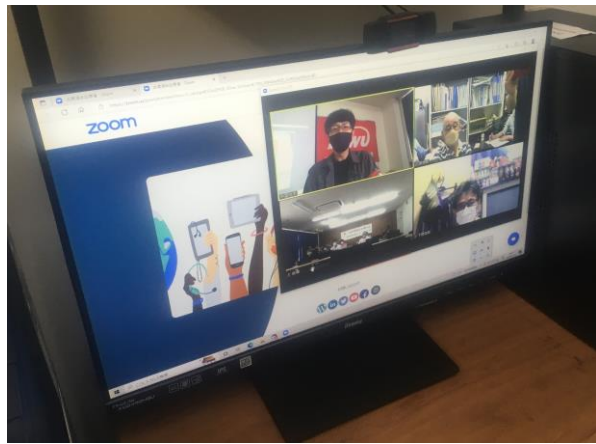
## 第十一回 定期大会

### 定期大会開催

広島オフィスセンターで、7月10日に第十一回定期大会が開催された。コロナ禍と言われる社会情勢で、3回目の大会となった。感染対策として、ネットのリモート参加も活用された。

### 集団訴訟について

労契法20条裁判の勝利に続いたたかいとして始まった集団訴訟も決着が近づいている。



【WEB参加の定期大会】

11名の原告のうち、7名の和解が成立し、残り4名についても和解案が会社から示され、詰めの和解協議となっている。

コロナ禍で裁判自体の傍聴ができない状況で進行しており、現状把握が困難な状況となっているが、判断が出た場合には、報告集会などを行う予定である。

### 22春闘

7年連続ベアゼロの回答で社員に還元しない郵政グループ。株式会社後で最高益を出しても、利益還元しない。

社員が頑張った結果が利益を生み出している事に感謝を示すも、それだけである。

こうした姿勢に対して、郵政ユニオンは広島中央支部を拠点にストライキを実施した。

コロナ禍を考慮し、大々的なストの決行は控えたが、社員が報われる為に抗議意志を示した。

### 権利の後退

20条最高裁判決により、アソシエイト社員に有給の病気休暇が付与された。

同時に生理休暇も1日取得可能となった。

しかし、正社員に対して、2日付与されていた生理休暇は1日に削減される。

その上、「賞与・昇給の減算除外」の廃止を示した。生理休暇を取得すれば、マイナス査定に繋がるという事である。

「女性社員を含む全社員が能力を十分に発揮し活躍できる環境作りを推進しています」と宣言等の中で公表しているが、現実とは異なる事がわかる。

扶養手当、住居手当など、会社が示す平等と社員が望む平等の違いは明らかである。

会社の利益が増える一方で、社員の権利が後退している現状は異常である。社員が意欲を持つて働く為にも、頑張った社員に利益を還元しなければならぬ。

頑張っても意味がないと社員の意欲低下に繋がると可能性がある。

利益還元は、現在の社員だけでなく、将来の社員集めや投資となり、会社にとっても有益である。

### 参議院選挙

7月10日の投開票日程で行われた参議院選挙。その選挙期間中に、安倍元首相が銃撃される事件が起きた。

安倍元首相と言え、アベノミクスやアベノマスク、もりかけ、サクラなど、世間を賑わす話題があった。

2017年には「付度」が流行語大賞に選ばれるきっかけともなった。

政治家の影響力が垣間見えた瞬間だった。だからこそ、国民は政治に無関心であってはならない。

また、選挙によって国民から議員が選ばれ、国政に就くという民主主義の根幹が凶弾という暴力により命を絶たれたという事実は実に悲しく、許されない。

政策や方針を巡って意見の相違があっても、暴力での解決は認められない。

容疑者は政治的な理由で行った犯行ではない様だが、政治は国民投票によってしか変えられない。

政治家が集う国会では、国民からの集めた税金の使い方や制度の在り方について、議論など行われ、国民の知る権利や国の方針が示されている。

### 交換手数料の変更

来年、4月1日から、切手類の交換手数料が改定される。

一回当たりの交換請求枚数が100枚以上の場合、これまで1枚5円だった通常はがきの交換手数料が倍の1枚10円となる。

また、種類や金額別に分けて、枚数など記載して持ち込む必要がある。

さらに、一回当たりの交換枚数が1万枚を超える場合は、会社が指定する郵便局に行かなければならない。

書き損じ葉書が100枚以上ある場合は、早めに交換をした方が良さそうだ。

なお、年賀葉書に関する喪中の無料交換は続けられる。

### 今後の予定

- 8月9日(火) 17:00~  
第10回呉支部執行委員会  
支部事務所

次号は 8月2日 予定